

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第172号(通巻第239号)

2019年3月29日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail:jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL:http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

■平成30年度「第5回連携・教育研究会」の報告

平成31年3月4日(月)に、山梨県総合教育センターにおいて、「第5回連携・教育研究会」を開催しました。今年度、最後の研究会となり、今年度の総括案と次年度の計画案が提案され、検討されました。

今年度の総括として、「双方の強みが活かされた」取組になっていたとまとめることができました。大きく変わったことと言えば、今年度より第1回の日程を9月から5月に早め、より早い段階から連携できる素地を作ることができたといえます。それによって、センター研究に関わる回数も昨年度の35回から今年度は49回に増え、より活発化したことがわかります。さらに、2本柱のうちの一つである前期の「学校制度・経営論」では、山梨県総合教育センターの先生方から、より専門的な知識と現場経験を活かした具体的な話や演習を交えたわかりやすい講義をいただけたと受講した学生からも好評を得ました。もう一つの「連携・教育研究会」では、田中センター長による「子どもが主役 町並み保存ー歴史的集落・町並みにおける地域協働のふるさと学習と担い手育成ー」をテーマとした情報提供のほか、山梨県総合教育センターの研究に本学のアドバイザーが効果的にかかわることができた、などの意見が出されました。

次年度の計画案については、今年度の取組をさらに継続し、今年度以上に連携を強化していくことが確認されました。



山梨県総合教育センター
斉木所長



附属教育実践総合センター
田中センター長



■平成30年度第3回教育相談室連絡協議会が開催されました

平成31年3月5日に第3回教育相談室連絡協議会が行われました。大学教員、附属学校園の教育相談担当教員、附属学校園のスクールカウンセラー、地域連携担当カウンセラーが集まり、今年度の教育相談の状況と来年度の課題等について協議しました。

今年度の附属学校園での教育相談は、重篤化・複雑化したケースもあり、学内にとどまらず、地域資源との連携をベースとした支援体制の確立と事例の蓄積が急務であることが共有されました。また地域貢献としての教育相談のあり方について、次年度より附属幼稚園の園庭開放日に地域の保護者の子育て相談を実施する方向で調整を進めていくことが確認されました。

■平成30年度文科省委託事業「教員の養成・採用・研修に関する一体的改革推進事業」の報告

山梨県教育委員会と連携して取り組んできた『「やまなし教員等育成指標」に基づいた初任者研修システム及び研修プログラムの実施と検証』（教員の養成・採用・研修に関する一体的改革推進事業）の一年間の成果としてこのたび、成果パンフレット（A4カラー、全8ページ）と委託事業成果報告書（A4カラー、全61ページ）をとりまとめました。成果パンフレットは山梨県教育委員会ほか県内の小・中・高校等の教育関係機関に配付しました。

今回の事業は、初任者から採用3年目までの教員を主対象とした「若手教員学習会」と、山梨県教育委員会・市町村教育委員会が拠点校等で実施している初任者研修等へ教育学部教員を指導・助言者として派遣する「初任者研修会への大学教員の派遣」の二本柱で進めてきたところに特色があります。本事業の実施により、やまなし教員等育成指標に基づいた山梨大学教育学部と山梨県教育委員会による研修体制の基盤強化、育成指標に基づく研修システム及び研修プログラムの充実、地域の教員育成に果たす大学の役割の明確化と教員の意識変容等、多くの成果を得ることができました。同時に、今後に向けての課題整理にもつながりました。

本事業の概要については、成果パンフレットをご覧ください。若手教員学習会は、来年度は山梨県総合教育センターとの共催により、「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会」として実施します。

本事業の実施にあたっては山梨県教育委員会義務教育課・高校教育課、県内4教育事務所、山梨県総合教育センター等のみなさまにたいへんお世話になりました。心より御礼申しあげます。



これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見るすることができます。